

今迄の震災後の教訓で、玄関ドアの開閉・戸締まりをしやすくする構造で・・・リユース（再利用）を備えとして

Ⅰ

Ⅱ

Ⅲ

対震枠構造

+

調整機能付対震丁番構造

+

対震機能部材構造

3つの構造を生かした 対震玄関ドア『スーパーカバー工法』

《業界初のスーパーカバー工法》

調整機能付対震ドア『スーパーカバー工法』とは、①既存枠の上に新しい枠を取り付け扉と枠のクリアランスを大きくとる構造（対震枠仕様⇒局部変形対応）と、②丁番内部に圧縮スプリングで扉下方向へ動く調整機能付 対震丁番構造（対震丁番仕様⇒面内変形対応）さらに、③扉側 上部調整プレートと吊元枠側丁番 タテ部調整プレートを取外し、扉と枠のクリアランスをさらに大きく（各3mm）とる事や、対震ドアガード・ストライクでドアの変形、吸収を助けながら戸締り、再利用を一段としやすくしました。

調整機能付 対震ドア『スーパーカバー工法』
対震ドアの3つのスマイル評価は・・・

リユース特別仕様〈ドアの再利用〉

バタフライヒンジ（調整機能付対震丁番）で
安全性、機能性、耐久性のあるドアを実現！

理想の対震ドア 3つのスマイル評価とは！

① 安全性

震災時、小さな力で
ドアも開けることが可能！



② 機能性

震災後、小さな力で
ドアを閉めることが可能！



③ 耐久性

震災後の戸締り及び
再利用が可能！



※一般ドアとの比較評価になります。

但し地震の強度等に対応できない場合があります。

調整機能付 対震ドア『スーパーカバー工法』は5つの部材 → 😊

上部調整プレート 3mm（特許出願済）



- ・波型コーティング仕上げで小さな力で開放
- ・震災後上部プレートを取外し調整。（3mm隙間確保）

2



対震用ドアガード

- ・ドアの歪みを吸収。

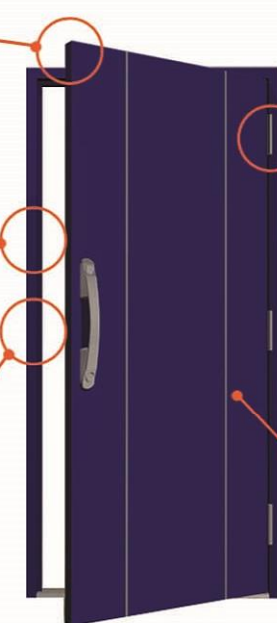
3



対震ストライク

- ・戸先部への側圧を緩和する。
- ・変形対応ストライクを採用しています。

4



1

バタフライヒンジ（特許出願済）

調整機能付対震丁番

- ・内部スプリングがドアの歪みを吸収。
- ・枠扉の出入り隙間を微調整可能。
- ・震災後枠側丁番のタテ部調整プレートを取外し調整可能。（3mm隙間確保）



5

扉本体（対震・防犯仕様）

- ・枠と扉が調整機能付（特別仕様）で接触せず扉を開放・開閉・戸締りをしやすくしました。